

補聴器、冬のトラブルを知っておこう！

補聴器は高温や冷気に弱いものです。

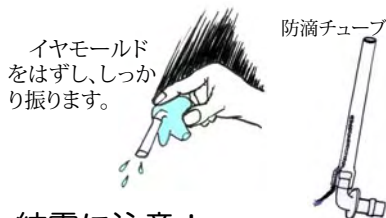
冬になると暖房器具を使うと思いますが、ストーブやファンヒーターの近くに置かないようにしましょう。

また、湿気がついたからといって、ドライヤーの熱風を当てたりしてもいけません。高温は故障のもとです。

補聴器は、低温には比較的強いのですが、冷たい屋外から急に暖かいところに戻ると、冷え切った補聴器に結露が生じることがあります。

結露が、フックやチューブやイヤモールドの音道内をふさぐと聞こえなくなります。

また、補聴器内部の結露は、放っておくとさびや故障の原因になります。



結露に注意！

チューブ内の結露は、イヤモールドを外して振って出します。

よく水滴がたまる方には、防滴チューブに変える対策も取ってみると良いですね。

最近の補聴器は、スケルトン(透明)と呼ばれる、プラスチックケースのものも見かけます。透明な補聴器は内部の機器が見えますが、内部に結露した水滴がついているのを見かけることもあります。

こうなったら、乾燥剤入りのケースにしっかり入れ、補聴器内部の水滴を取り去ることが大切です。

こうならないためには、冷たい屋外から入ったときは、乾燥剤入りのケースに入れ、ゆっくり室温に戻すのも良い方法のようです。

電池…乾燥が寿命を縮めます。

電池は、補聴器と一緒に乾燥ケースに入れてはいけません。よくわかりますね。

ずいぶん、電池が消耗するんですね。

資料... 社団法人電池工業会

低温で、電池は性能が落ちます！

冬場は、電池の消耗が早くなります。

それは、空気電池は、使用するときの温度が低いと、使用時間が短くなるという特性からくるものです。

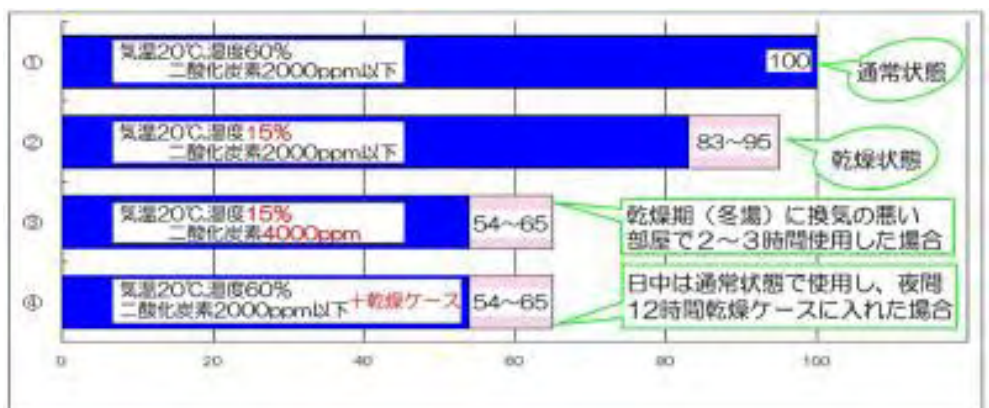
「電池の持ち時間が短くなった」と感じはじめたら、予備電池の備えを念入りにしたほうがいいですね。

電池は乾燥やCO2も苦手です。

電池が冷えていると、化学反応が進みません。その場合、温めれば出力が回復することがありますが、二酸化炭素や乾燥による劣化の場合は回復しにくいようです。

閉め切った部屋で、火気を使う暖房器具を使用し続けると、二酸化炭素が増えて、電池の消耗が激しくなります。

部屋の換気も大事になります。下の図を参考にしてください。



フォナックFMシステムに、新オプション

DynaMic(ダイナマイク)



卓上スタンド付属

先生の送信機以外に、子どもたちが持つ子機のマイクがあれば、子どもたちの発表した声も、FMで届けることができます。



フォナック社
インスパイロ

グループ作業でのディスカッションや、クラス全体の発表の時に活躍します。

左のような、同メーカーの「インスパイロ」というシステムに、子機として使用できます。



研修会の御案内

四国教育オーディオロジー研究協議会 講演会

講演 『聾学校の過去・現在とこれからの聴覚障害児教育を考える』

講師 中瀬 浩一 先生 (大阪市立聴覚特別支援学校教諭・元筑波技術大学助教授)

在籍児童生徒数の現象、多様化する子どもへの対応、頻繁な教員異動により薄れゆく専門性など、聾学校が抱える問題は山積みです。さらに、特別支援教育への制度改正による学校名変更、他障害の児童生徒受け入れなどによる、先の見えない課題も生じています。これからの聴覚障害児教育はどのようになっていくのでしょうか？また、我々聴覚障害児教育に携わる者は、どうすべきなのでしょう？

今回は、講師に大阪市立聴覚特別支援学校教諭の中瀬浩一先生をお招きし、聾学校の歴史をひも解きながら、全国の聾学校の動向と今後の聴覚障害児教育のあり方について御講演いただきます。

期日 2009年12月12日(土) 10:30～15:00

会場 愛媛県歴史文化博物館(オリエンテーションルーム)

西予市宇和町卯之町4-11-2 電話(0894)62-6222(代表)

参加費 会員500円(会員外は1,000円)

10:30～11:00	受付
11:00～12:00	講演
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～14:30	講演
14:30～15:00	質疑応答

情報

TBS系新春スペシャルドラマ

「筆談ホステス～母と娘、愛と感動の25年。届け！わたしの心(仮)」

聴覚障害のあるホステス、斉藤里恵さんが自身の半生を描いた「筆談ホステス」(光文社)が、TBS系のスペシャルドラマ化されます。2010年1月に放送予定です。

斉藤さん役に、女優の北川恵子さん、母親を田中好子さんが演じます。

関連して、光文社から漫画コミック化され、単行本(上下巻)で、年内に発行予定です。関連本として「筆談ホステス67の愛言葉」定価980円(税込)が光文社より出版されています。



幼児の言語指導に役立つこと紹介！！

幼児～小学生に役立つマナーの本を紹介します。

聞こえる子だと、知らず知らずのうちに聞いたりして身に付けていくルール(常識)やマナーですが、聞こえない子の場合、そうはいきません。意識して学習していかないと身に付ける機会を失ってしまったりもします。

この絵じてんは、子どもの生活に寄り添ったテーマで、いろいろな場面でのマナーを、豊富なイラストで解説しています。見開きが、テーマごとの展開になっていて、必要なマナーが絵で見て分かるところが、聴覚障害のお子さんにも大変役立ちます。機会を見はからって、絵じてんのカット見せながら説明すると、理解もしやすいだろうと感じます。幼児から小学生をお持ちの家庭にお勧めです。先生も、教材作りにきっと役立ちます。

■『こども マナーとけいご絵じてん』
三省堂 定価 2,520 円 (税込)



かるたに一工夫して、みんな参加！

早いもので、今年も残り一か月。新年になると、幼稚園ではお正月の遊びとして、かるた取りが流行り出します。今年初めに幼稚園や保育園を訪れたとき、やはりどこも室内ではかるた取りを集まってしています。

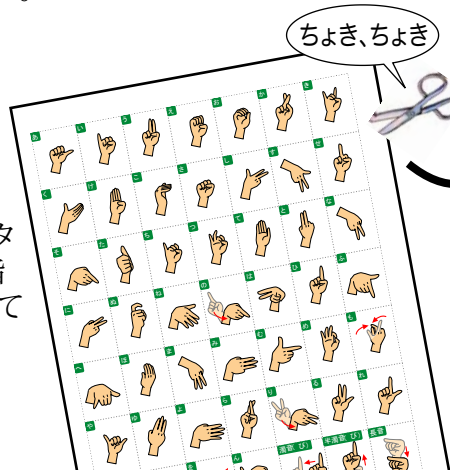
そんな中に、聴覚障害のあるお子さんもいて一緒にするわけですが、読み札を読んだ後、いつも「何？見せて！」と、読み終えた札をのぞき込みます。その間に、他の子たちが、絵札を取ってしまいます。同じルールだとなかなか、かるたのだいご味を味わえないでいるようです。

そこで、少しばかり、ルールを変え、工夫をしてやると、聞こえにくい子でも、参加できる

ようになります。

まず、読み札に「指文字」シールをはります。読み手は、その指文字だけは示しながら続きを読むようにします。これだけで、聞こえにくいお子さんは何を取ればいいのかははっきり分かります。でも、できるのは、聞こえない子が、指文字をある程度知っていることが前提です。

家庭でも、かるたを工夫したり、ルールを変えて試したりし、子どもに合った遊び方をつかんでおくと、園に対しても楽しめる方法を伝えることができますね。



指文字シールは、A4程度のタックシールに必要な大きさに指文字表を印刷したものを、切って貼ります。

※上のかるたの例は…
『あいうえおかるた』
(株)大創産業
定価200円 です。

手作りカレンダーで、カレンダーワークをしてみよう!

すでに、店頭などには来年のカレンダーが並んでいますね。

さて、幼稚部などでも毎日行っていることですが、カレンダーワークは体験や経験を振り返ったり、予定を期待して待ったりするのに役立ちます。経験を振り返ることは、絵日記などがとても有効ですが、時間的な流れを視覚的に把握したり、「きょう」あした「きのう」などの時間的なことばを理解するのに、カレンダーがと

ても役立ちます。

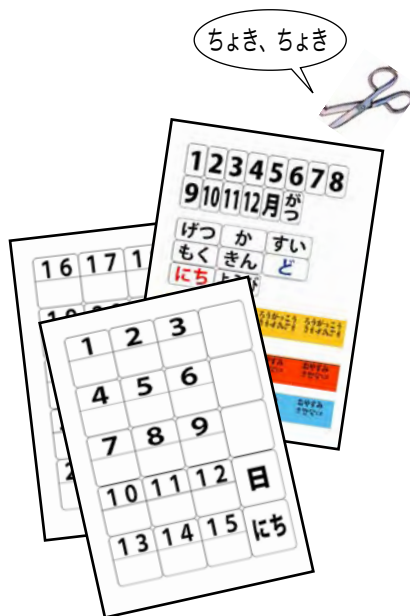
行事の絵カードや、チラシやパンフの切り抜きをポケットに入れたりして、分かりやすく、一緒に楽しめるようにするといいですね。

日めくりのカレンダーも併用すると、毎日めくるのも楽しくできますね。

手作りのカレンダーを作って、カレンダーワークをしてみませんか?



ダイソーにある、『月間カレンダータイプ壁掛けポケット』定価100円を使います。本当は、毎日の薬を入れたりするのかな?



右のような、毎月入れ替える日付カードなどを作り、切ってポケットに入れます。



例えば、日曜日には、楽しみにしているプリキュアをテレビで見れるので、キャラクターの切り抜きをさしておく...



「きのう」「きょう」「あした」の札を作って、ずらしさせるようにしています。毎日、「日めくり」と照らし合わせてずらしていきます。

★月初めには、親子で日付カードの入れ替えをしたり、一緒に絵を描いて入れたりするといいですね。

★楽しかった経験で、振り返ったら楽しい思い出をポケットにはさんでいってもいいですね。カレンダーを見るたびにお話が弾みます。

